

今村有里子助教授追悼号に寄せて

今村有里子助教授は横浜国立大学大学院、一橋大学大学院で、ファイナンスを専攻され、その後、一橋大学助手、沖縄国際大学の講師、助教授を歴任にされた後、平成12年4月に東洋大学経営学部に赴任されました。

東洋大学経営学部では、平成12年4月から、新たなカリキュラムを編成し、マーケティング学科（平成12年当時は商学科で、平成13年から学科名を変更）では、サイバー・マーケティング・コース、ファイナンス・コース、アカウンティング・コースの3つのガイダンス・コースを設け、これを基礎に授業科目の編成を行いましたが、当時、経営学部では、ファイナンス関係の担当者が少なく、この面を強化することが強く求められていました。このため、若い研究者を探していましたが、これに応じて赴任していただいたのが、今村助教授でした。それから2年余、ようやくファイナンスの分野の研究・教育体制も出来上がり、これから発展が期待された時期に突然今村助教授の訃報に接することになりました。

今村助教授は、最近は、主としてアジア諸国の株式価格の運動性について研究されており、新しい統計手法を使用して成果をあげておられました。これらの成果は博士の学位論文にまとめられ、今年3月に、一橋大学から博士（商学）の学位を授与されました。また、学内的にも今年4月に助教授に昇格され、今後の研究成果が大いに期待されていました。今村助教授はこれまで元気に研究・教育を行っておられ、今年4月から5月にかけての連休時には、台湾に調査に出かけ、台湾の株式市場とともに、現地の経済事情についても調査していました。また、亡くなられる前の週まで、元気に講義をされており、突然の訃報は教員学生にとって、信じられないものでした。

経営学部では、若い研究者の急逝を悼み、『経営論集』第57号を今村助教授の追悼号とすることにいたしました。ここに追悼号を今村助教授のご靈前にささげ、心からご冥福をお祈りいたします。

平成14年10月

経営学部長 飯 原 慶 雄